

第12-45号

2013年2月26日

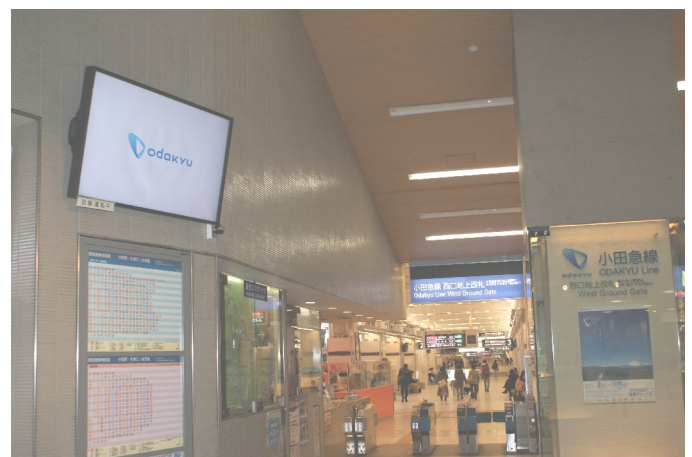
**2013年3月1日から、
 小田急線16駅20箇所に「異常時運行情報ディスプレイ」を導入！！
 異常時の運行状況や振替輸送を分かりやすくご案内します。**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）では、2013年3月1日（金）から、小田急線主要16駅（合計20箇所）の改札口付近に「異常時運行情報ディスプレイ」を導入し、列車運行状況や沿線情報などを、分かりやすくお知らせいたします。

この「異常時運行情報ディスプレイ」は、小田急線で運行異常が生じた際、最新の運行状況や他社線への振替輸送経路などをご案内するものです。60インチ（一部、47インチまたは42インチ）のディスプレイには、「運行状況（運転見合わせ区間など）」「再開見込み（時刻）」「他社線への振替輸送（経路と所要時間）」などを、文字情報と路線図などで表示します。これにより、各駅改札口付近に設置している既存の運行情報表示器（LED式）の文字テロップとあわせて、運行異常時の列車運行状況などを、より分かりやすくご案内することが可能となります。

また、大規模災害発生時にはNHKの報道番組を放送するほか、平常時は、沿線の観光情報などをお知らせいたします。当社では「異常時運行情報ディスプレイ」の導入によって、状況に合わせたご案内を、迅速かつ分かりやすくご提供してまいります。

「異常時運行情報ディスプレイ」の概要については、下記のとおりです。



「異常時運行情報ディスプレイ」（新宿駅西口地上改札）

記

1. 開始日 2013年3月1日(金)
一部の駅では、開始日以前に試験的に表示されることがあります。
2. 導入駅 16駅(20箇所)
設置駅、設置箇所、ディスプレイサイズは、別紙をご覧ください。
下北沢駅は2013年3月末日までに設置します。
3. 表示内容
 - (1) 小田急線運行異常時
「運行状況(運転見合わせ区間など)」「再開見込み(時刻)」「理由」「発生時刻」「発生場所」「他社線への振替輸送(経路と所要時間)」のご案内など
 - (2) 小田急線運行平常時
沿線情報、駅ご利用案内など
 - (3) 大規模災害発生時
大規模災害発生時には、NHK総合の報道番組を放送します。

< 運行異常時の画面 >



< 振替輸送のご案内画面 >



以上

<ディスプレイ設置駅(箇所)について>

主要16駅(20箇所)

駅名	設置場所(改札口)	ディスプレイサイズ
	西口地上	60インチ
	西口地下	47インチ
	中央地下連絡改札口	42インチ
	南口	60インチ
代々木上原		47インチ
下北沢		
成城学園前	中央改札口	60インチ
登戸		60インチ
新百合ヶ丘		60インチ
町田	西口	60インチ
相模大野	中央改札口	60インチ
海老名	南口	60インチ
本厚木	中央改札口	47インチ
	東口	60インチ
秦野		47インチ
小田原		60インチ
中央林間	南口	47インチ
大和		60インチ
湘南台		47インチ
藤沢		60インチ

2013年3月末までに設置します。